

機能解説

自動化ツール

# 作業員 1 人当たりの生産性を高める 柔軟性の高い自動化システム

フォースウェーブ・パートナーズ(株)

坂本 直樹\*

当社の社名であるフォースウェーブとは、「第 4 の波 (The4thWave)」であり、約 35 年前にアルビン・トフラーが提唱した「第 3 の波」に次ぐ時代の変化を意味する。トフラーは狩猟から農耕の開始によって文明社会が生まれ (第 1 の波)、産業革命による工業社会 (第 2 の波) に続き到来する情報化社会を第 3 の波として、社会が変革されることを提議した。実際に現代社会はコンピュータやスマートフォン、インターネットなどの社会資本を中心に今までなかったサービスや新たな価値を生み出した。

第 4 の波は AI や IoT によって社会に起こる新たな変化である。社会はスマート化が進み、より効率的なエネルギー資源の配分や、事故のない社会をはじめとして「働き方」、「生活」、「生き方」が大きく変わる。「強欲：GREED」が社会をけん引し進化させる時代から、「知価\*：SMART」が社会をけん引する時代が変わる。より多くを所有することが成功であった価値観が、個々のオリジナリティを重視する価値観に変わり、より人間的な社会の実現を目標に社会は変革していくと思われる。

※知価 (知恵が価値を生み出す) は堺屋太一氏の造語

「知価革命」によって大きく変わるのが働き方である。人は働く時間の対価として収入を得るのではなく、生み出す「知価＝付加価値」の対価として収入を得るようになる。日本は今後急激な労働人口減少社会を世界で最初に迎える。国内市場が小さくなり、企業の競

争力はさらに弱くなるとのネガティブな予測もある。またロボットやコンピュータに仕事が奪われるといった不安をもつ読者もいるだろう。

しかし視点を変えれば、これは日本にとって大きなチャンスではないだろうか。労働人口の減少は賃金の上昇に直結する。これが変革の大きなエンジンとなる。スマート化が進み、コンビニや銀行窓口から人が消え、代わって人と人とのコミュニケーションによって生まれる満足度の高いサービスや、新たな付加価値を生み出すクリエイティブな作業が拡大する。日本国民の平均的な所得は国際的に見て飛躍的に上がり豊かになる。

一方、企業は変革を急ぐ必要がある。賃金上昇や労働時間の短縮という社内コストの上昇、厳しさを増す国際競争と海外市場の開拓・展開という迫りくる課題は、今までのやり方では解決できず淘汰されてしまうだろう。外国人労働者の採用といった従来の経営戦略の延長線上の取組みでは抜本的な解決は望めない。社員 1 人当たりの付加価値を飛躍的に向上させることこそが必要である。当社の主たる事業領域である金型産業・部品産業においても、新たな付加価値創造と生産性の向上によるコストダウンの両輪の実現が、企業の継続的成長を実現するためのエンジンになると考える。

当社はロボット技術、自動化技術、ソフトウェア技術 (情報処理・AI・IoT) を集約し、ワンストップで自動化、効率化、省力化を実現し、製造業の付加価値創造に向けた取組みをサポートし、企業価値の増進に寄与することで社会に貢献したいと考えている。

\*Naoki Sakamoto：代表取締役

〒810-0001 福岡市中央区天神 3-9-33

TEL (092) 710-3031